

耐熱200℃金属補修材



ラストッフ 1210

■ 技術資料 ■

■ 施工要領 ■

ACCESS
ANTICORROSION ENGINEERING

株式会社 アクセス

制定日 2015.04.01

改定日 2021.07.01

1. ラスタッフ 1210とは

ラスタッフ 1210 耐熱200℃金属補修材は、金属・耐火物表面等の補修用として開発された、エポキシ樹脂の2液性補修材です。おもにエポキシ樹脂と鉄粉からなる主材と硬化材で構成され、これらを重量比1:1で混合・塗布して常温乾燥することにより、耐熱200℃となります。ラスタッフ 1100シリーズの耐熱タイプとしてお使いいただけます。

2. 充填方法

(1) 下地処理

- ① 下地は鋼材、コンクリートが適しています。
- ② コンクリートの場合には、ブラッシング等によりゴミ・異物等を除去します。油分が付着している場合には、洗剤等により脱脂してください。
- ③ 鋼材の場合には、ブラッシング等により、サビ・異物等を除去した後、脱脂処理(アルカリ脱脂・溶剤脱脂等)を行います。なお、前処理として、ブラスト処理をすればより付着力が向上します。

(2) 調整

- ① 主材、硬化材ともに、容器の中をヘラなどで良く攪拌してください。
- ② 可使時間内で使い切れる量を想定して、重量比で1:1となるように量り取ってください。このとき、シート上で量り取ると混合しやすくなります。
- ③ さらにヘラなどを使用して、手早く均一に混合してください。
- ④ 混合後、固まりがあると発熱して硬化する恐れがあるので、広げておくことで、それを防ぐことができます。

(3) 充填方法

- ① 塗布物の熱が残っていないか確認してください。熱が残っていると正常に硬化せず、満足な物性が得られない可能性があります。
- ② 材料を塗布物に擦りつけるように一通り塗りつけ、その後、所定の膜厚になるようにさらに塗りつけてください。このとき、空気が入らないように、押し出すように塗り広げてください。
- ③ 表面を滑らかにしたい場合、成型用ヘラなどをご使用ください。
- ④ 可使時間は、25℃の場合で5～10分です。可使時間内に施工してください。
- ⑤ 一回の膜厚は最大で5～6mm程度です。これ以上の膜厚となる場合は、複数回施工してください。
- ⑥ 専用テープ(ラスタッフ 7520)を使用することもできます。その場合、テープと施工箇所の両方に塗布した後、テープを施工箇所に貼りつけ、テープの上にさらに塗布してください。

(4) 乾燥・硬化

- ① この製品は、主材と硬化材の反応によって乾燥・硬化します。
- ② 気温 25℃程度で 4～5 時間で乾燥・硬化しますが、可能であれば一晩放置してください。
- ③ 気温 15℃以下の場合、乾燥・硬化が遅くなる場合がありますが、あらかじめ材料を湯煎等で 20～30℃程度に加熱すると早く乾燥・硬化します。
- ④ 乾燥・硬化の際、結露や雨水などの水分が付着すると、表面が白化する可能性がありますので、天候を考慮して施工してください。

(5) 洗浄剤

材料が付着した道具を洗浄する場合には、ケトン系溶剤(ラスタップ 7020もしくはアセトンなど)をご使用ください。完全に硬化すると取れなくなるので、硬化する前に洗浄してください。

(6) 上塗り

ラスタップ 1210は鉄粉が配合されているため、塗膜に塩分や水分が接触すると、鉄粉の酸化により表面が茶色に変色する可能性があります。しかし、変色は表面のみで塗膜内部や素地に達することはありません。外観を考慮する場合は、ラスタップ 1210の塗膜表面にラスタップ6430(下塗り)と6440(上塗り)を塗布することができます。詳しくは該当する技術資料をご覧ください。ラスタップ 1210の表面をサンドペーパー等で軽く磨いてから塗布すると密着性が良くなります。

3. 性 状

(1) 塗料性状

主 成 分	エポキシ樹脂、鉄粉
荷 姿	500g セット(主材 250g、硬化材 250g)
色	濃灰色(主材)、灰色(硬化材)
比 重	2.3
状 態	ペースト状
混 合 比	主材1:硬化材1(重量比)
膜 厚	最大 5～6mm(1層塗りの場合)
使 用 量	2.3 kg/m ² (膜厚1mm の場合)
可 使 時 間	5～10 分(25℃)
硬 化 時 間	4～5 時間(25℃) 一晩置くとなお良い
耐 熱 温 度	200℃

(2) 物性試験

試験名	試験値	試験規格
引張接着強さ	8.38 MPa(20℃) 5.02 MPa(200℃)	JIS K 6849
塩水噴霧試験 (1ヶ月)	塗膜表面の変色があるが、塗膜の割れ・膨れ・はがれがなく、素地は侵されていない	JIS K 5600-7-1
冷熱繰り返し試験	200℃・2 時間の加熱後、-20℃・2 時間の冷却を 5 回繰り返し返しても、塗膜の割れ・膨れ・はがれがない	社内試験
上塗り適合性	上塗りとしてラスタフ6430、6440を塗布して塩水噴霧試験を行い、塗膜表面に錆が発生しない	社内試験

※この結果は一例であり、保証値ではありません。

4. 取扱方法

(1) 注意事項

ラスタフ 1210は換気の良いところで取り扱い、飛沫の吸飲を避け、保護眼鏡・マスク等を着用してください。

手、肌等に付着した場合は、速やかに洗剤、水等で洗い流してください。

もし目に入った場合には、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ場合には、嘔吐剤等により吐き出し、医師による処置を受けてください。

(2) 保存方法

主材、硬化材ともに、密栓して乾燥した冷暗所に保存してください。

(3) 使用期限

主材、硬化材ともに、未開封の場合は1年ですが、開封・使用すると1年以下になります。

※この技術資料は、予告なく内容を変更する場合がありますのでご了承ください。